



## 年末年始の診療体制

今年も残すところわずかとなりました。年末年始は通常とは異なる診療体制となりますのでご注意ください。

## お薬切れにご注意を!

定期的に処方を受けている方は、主治医とご相談の上、お薬切れが生じないようにご準備ください。



	2024年				2025年			
	28日(土)	29日(日)	30日(月)	31日(火)	1日(祝水)	2日(木)	3日(金)	4日(土)
亀田クリニック	通常診療	休診	救急診療体制※1 救命救急センターの混雑が予想されるため、内科や小児科疾患でおかかりの方は日中のみ亀田クリニックを臨時オープンして対応いたします(救急対応のため応急処置となります)。				通常診療	
救命救急センター	救急診療体制※1							
クリニック(1階) 歯科センター	通常診療	休診	急患対応※2 10:00~16:00	休診	休診	急患対応※2 10:00~16:00	休診	通常診療

### ※1 救命救急センターの受診について

《お願い》緊急を要する患者さまを優先して診察を行うため、診察順が前後したり、長くお待たせしてしまうことがあります。何卒ご理解願います。

#### 1) 来院前に下記番号へご連絡ください

**04-7092-2211 (代表番号)**

- ① 患者さまの住所、氏名、生年月日  
(当院の診察券をお持ちの方は右下8ケタの番号)
- ② 患者さまの様子  
(けがの状態や主な症状など)
- ③ 当院への来院方法、おおよその到着時刻

#### 2) 次のものをお持ちください

当院の診察券・マイナ保険証・健康保険証・資格確認書・高齢者医療費保険者証・公費受給者証 ほか

#### 3) 会計はカード払いも可能(一括払いのみ)

クレジットカード利用の場合は4ケタの暗証番号入力が必要

#### 取り扱い可能なカード

「JCB」「UC」「VISA」「MasterCard」  
「Diners Club」「American Express」  
「DISCOVER」

### ※2 歯科センターの受診について

年末年始も歯痛や腫れなど急な口腔トラブルに対する急患対応を行います(緊急的な症状に対する応急処置となります)。

受診の際は、急患対応の時間内に下記番号へ事前連絡をお願いします。

**急患対応10:00~16:00**  
**04-7099-1118**  
(歯科予約センター)

診療を円滑に進めるため  
ご協力ください

## 院内サービス施設 年末年始営業態勢

12月30日(月)~1月3日(金)

### Kタワー1階 インフォメーション (コンシェルジュデスク)

通常どおり、案内業務・面会手続き・コンシェルジュによる買い物代行サービスを行います。

#### 面会は通常通り対応いたします(14:00~18:00)

手続きが必要です。Kタワー正面玄関口にて書類をご記入の上、インフォメーションカウンターへお立ち寄りください。なお、受付開始時間(14:00)頃は大変混み合います。時間をずらしてお越しいただくことをおすすめいたします。

#### 面会のルール



院内ではマスク着用

一度に入室できる人数は3人まで

1日1回30分まで



30分

※ Kタワーにご入院の患者さまへのご面会に際し「サポーターカード」を発行された方は、24時間いつでもお越しいただけます。

## 院内サービス施設

年末年始は院内サービス施設も多くの店舗がお休みをいただくほか、営業時間を短縮して対応いたします。

#### 12月30日(月)営業店舗

- ・ル・ペイザージュ 9:00~18:00
- ・亀田ホームケアサービス事務所 8:30~17:30
- ・ユニクロ 10:00~18:00

#### 12月31日(火)営業店舗

- ・ル・ペイザージュ 9:00~16:00

#### 1月3日(金)営業店舗

- ・ユニクロ 10:00~18:00

#### 年末年始期間も通常どおり営業

- ・ローソン(L棟1階) ・コインランドリー

#### 年末年始休業後1月4日(土)の短縮営業店舗

- ・タリーズコーヒー 7:30~17:00
- ・亀楽亭 11:00~15:00

#### 《Kタワー1階》ちば興銀キャッシュコーナー

日曜・祝日も8:00~21:00利用可能

ご利用時間帯により所定の利用手数料がかかります。

# 変わる 片頭痛治療

脳神経内科  
(亀田脳神経センター)  
福武敏夫



## 最終話 「この注射で人生/世界が変わった！」 (複数の患者さん) - 私の治療の進め方 -

片頭痛と診断できる方は必ず以前から頭痛があり、程度はともかく同じような頭痛発作を繰り返していた前史があります。連日的な頭痛で受診してきてもしつこくそのことを訊き出します。そして第4回に紹介した問診で診断します。片頭痛は問診だけで100%診断できる病気です。その次に、最近の連日的な頭痛について訊きます。その鑑別は書ききれませんが、市販薬の乱用は特別料金を取りたいほど難題です。連日的な頭痛がだんだん強くなってきているとか軽微でもなんらかの神経症状があるのでなければ、画像検査は不要です。

いずれにしても片頭痛の治療は診断を100%確認してから開始します。「大体片頭痛だから、片頭痛薬を出して効果を確認する」というのはとんでもない大間違いです。

まず、最近連日的になっている方について書きます。肩こりが背景のことが多く、その治療を開始しますが、後述の片頭痛の予防治療や頓挫治療も同時に開始する場合もあります。

市販薬を乱用している方にはきっぱりと止めるのが最善で、1週で頭が晴れてきます。しかし、そうできない人には温湿布とトリプタノールを処方し、頓服薬を月に15日以内→10日以内へと減らしてもらう方針にします。

頭痛発作の回数が少なくて寝込むほどのことがないようなら頓挫薬を考えます。どんな鎮痛剤でも回数が月に5回程度で良く効いているならそれでよいですが、一般に次第に効果がなくなってきます。その場合

は、トリプタン系5種の中から順に試して1時間以内の効くまで適剤を探します。トリプタン系が効かないとか副作用が気になる場合は、鎮痛薬と新しい片頭痛用頓挫薬(レイボー)から選びます。

月に4回程度であっても寝込むなど支障度が高い場合は最初から予防薬を始めます。最初はきちんと治験がなされた日本発のミグシス/テラナスを用品います。その効果が乏しい場合は患者特性に応じてβ阻害薬、バルプロ酸、トリプタノール、漢方薬を用品います。

上記予防薬が奏功しない場合、抗CGRP関連皮下注射薬(原則月1回、自己注射も可)を説明します。薬価が高いので、3回、6回と節目ごとに継続を相談します。6~12回打つと90%以上も頭痛が減り一旦「卒業」する方がありますし、頭痛回数の著減がなくとも寝込まずに快適に生活できるからと30回以上続けている方もあります。2ヶ月に1回にしている方もあります。効き目は頭痛だけでなく、吐き気などの合併症状や頭痛の無い日の感覚過敏にもありそうです。費用も大事ですが、健保組合の中には応援してくれるところもありますし、何よりもご本人の生活の質だけでなく、家族への影響(心配する連れ合いや遊んでもらえない子供)も考えると、主婦も含めて働き盛りの世代にとって考慮に値する治療と思います。自己注射は薬剤師が丁寧に指導します。通院時間などで通院の困難な方や交代勤務などで予防薬の内服に難のある方に特にお勧めです。最初は外来で医師が注射しますが、2回目からは診察後に注射センターで受けていただくか、薬剤部で自己注射の指導を受けていただいてから3本くらい持ち帰ってもらって自宅で自己注射する方法もあります。



医療エッセイのバックナンバーはこちらからご覧いただけます。  
<https://medical.kameda.com/general/about/magazine/index.html>



## 医師紹介 ひらやま しゅんき 平山 俊希 医師



- ①担当科目
- ②診療における得意分野
- ③趣味
- ④ひと言

- ①呼吸器外科(部長)
- ②呼吸器外科、ロボット手術
- ③サッカー、テニス、旅行
- ④患者さまと真摯に向き合い、個々にとって最適な医療を提供できるように尽力いたします。



Kameda Medical Center

亀田ホームページ <https://www.kameda.com>

